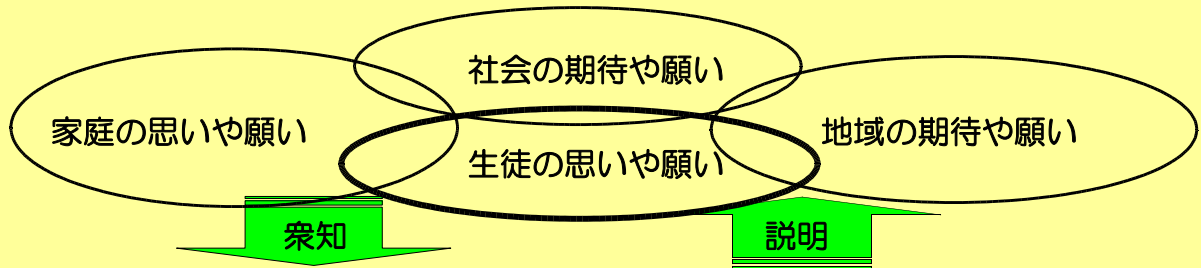


## 大村工業高校 人づくりの流儀

50（7学科，10分掌，3学年，10教科，23委員会）の個の力と組織力を結集し、学校教育目標及び重点目標の達成のために、社会行動の共通の基盤づくりを見据え、コンプライアンス向上（教職員の生きる力の向上）による学校づくりに努めます。



【校訓】  
【学校経営方針】  
【学校教育目標】

『技術者たる前に ます人間たれ』  
『日本一を目指す元気な学校づくり』

真理と正義を愛し、平和的な郷土及び国家を担う責任を自覚し、  
社会の発展に寄与する心身ともに健康な工業技術人を育成する。

【スクール・ガバナンス】

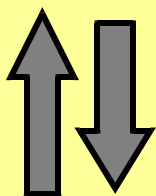
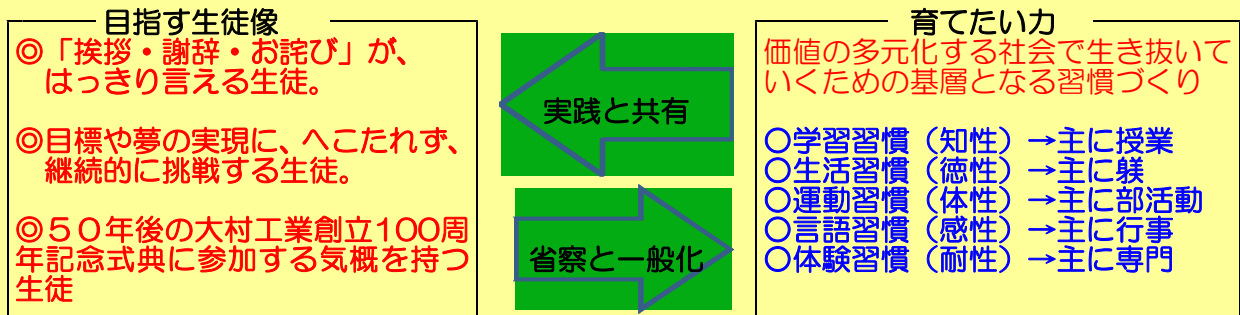
『人ありて技術』の伝統を胸に、『県内工業高No.1』を目指す。

可視化・焦点化

【☆行動規範の3K、職務規範の3Kで教師の生きる力を高める】

「気づき 考え 行動する」教職員が  
「気がつき 考え 行動することのできる」元気な人間を育てる

「決めた事を、基本にそって大切に、確実に実行しよう」



合致＝成果  
差（ズレ）＝課題

真因（本当の原因）の追求と課題の順位づけを行う

改善・解決策

生徒や保護者、地域や教職員の実態や状況はどうか

仕事は、Bestよりも、Betterを求めることで、一人で抱え込まず、スピードと協働性を発揮する。

◎CAP-Dサイクル <中・長期的目標>  
→学校評価を利用し改善する

◎D-CAPサイクル <短期目標>  
→目標管理や授業評価で改善する

【キーポイント】

俯瞰的にみる、学校の成果と課題に誠実に向き合う、みんなで納得解をつくる